

第 5 章

治 療

1 治療

(1) 治療内容全体

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断されたケースは413件であった。

その中で行われた専門的治療は、t-P A治療は18件、脳血管内治療は7件、脳外科手術は37件、脳血管内治療及び脳外科手術は2件であり、これらの専門的治療を行ったケースはあわせて64件であった。

専門的治療を行ったケース64件について疾病別でみると、t-P A治療は脳梗塞の18件(7.0%)で実施され、脳血管内治療は脳梗塞の4件(1.6%)、くも膜下出血の3件(7.9%)、脳外科手術は脳梗塞の1件(0.4%)、脳出血の17件(14.5%)、くも膜下出血の19件(50.0%)、脳血管内治療+脳外科手術は脳出血の1件(0.9%)、くも膜下出血の1件(2.6%)で実施された。

治療内容

治療内容	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	件数	構成比率
① t-P A治療	18	0	0	18	4.4%
脳卒中急性期医療機関に搬送	17	0	0	17	4.1%
脳卒中急性期医療機関以外に搬送	1	0	0	1	0.2%
②脳血管内治療	4	0	3	7	1.7%
脳卒中急性期医療機関に搬送	4	0	3	7	1.7%
脳卒中急性期医療機関以外に搬送	0	0	0	0	0.0%
③脳外科手術	1	17	19	37	9.0%
脳卒中急性期医療機関に搬送	1	17	19	37	9.0%
脳卒中急性期医療機関以外に搬送	0	0	0	0	0.0%
②③脳血管内治療+脳外科手術	0	1	1	2	0.5%
脳卒中急性期医療機関に搬送	0	1	1	2	0.5%
脳卒中急性期医療機関以外に搬送	0	0	0	0	0.0%
①②③の治療については治療実績なし	231	98	15	344	83.3%
脳卒中急性期医療機関に搬送	215	94	15	324	78.5%
脳卒中急性期医療機関以外に搬送	16	4	0	20	4.8%
未記入	4	1	0	5	1.2%
脳卒中急性期医療機関に搬送	4	1	0	5	1.2%
脳卒中急性期医療機関以外に搬送	0	0	0	0	0.0%
計	258	117	38	413	100.0%

また、治療実施内容を発症から病着までの時間別で見ると、発症後3時間以内に病着した脳梗塞119例のうち、18例（15.1%）がt-P Aを実施し、うち1時間以内は50例中9例（18.0%）、1時間～2時間以内は43例中6例（13.9%）、2時間～3時間以内は26例中3例（11.5%）となっており、病着までの時間が短いほど、t-P A実施率が高いことがわかる。

治療内容－発症から病着までの時間別

脳梗塞

（上段：件数 下段：%）

	合計	① t-P A 治療	② 脳血管内治療	③ 脳外科手術	②③ 脳血管内治療＋ 脳外科手術	①②③の治療については 治療実績なし	不明
総数	258 100.0	18 7.0	4 1.6	1 0.4	- -	231 89.5	4 1.6
※発症時間が判明している ケースの合計	170	18	2	-	-	150	
30分以内	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
～1時間以内	49 100.0	9 18.4	1 2.0	- -	- -	39 79.6	- -
～1時間30分以内	34 100.0	6 17.6	- -	- -	- -	28 82.4	- -
～2時間以内	9 100.0	- -	- -	- -	- -	9 100.0	- -
～2時間30分以内	13 100.0	3 23.1	- -	- -	- -	10 76.9	- -
～3時間以内	13 100.0	- -	- -	- -	- -	13 100.0	- -
～4時間以内	13 100.0	- -	- -	- -	- -	13 100.0	- -
～7時間以内	8 100.0	- -	- -	- -	- -	8 100.0	- -
～10時間以内	5 100.0	- -	- -	- -	- -	5 100.0	- -
～15時間以内	7 100.0	- -	1 14.3	- -	- -	6 85.7	- -
15時間を超える	18 100.0	- -	- -	- -	- -	18 100.0	- -

脳出血の脳外科手術は、30分を超え1時間以内では24.0%（6件）、1時間を超え1時間30分以内では11.8%（2件）、2時間を超え2時間30分以内では25.0%（1件）、3時間を超え4時間以内では14.3%（1件）であった。

治療内容－発症から病着までの時間別

脳出血

（上段：件数 下段：%）

	合計	① t I P A 治療	② 脳血管内治療	③ 脳外科手術	②③ 脳血管内治療＋ 脳外科手術	①②③の治療については 治療実績なし	不明
総数	117 100.0	- -	- -	17 14.5	1 0.9	98 83.8	1 0.9
※発症時間が判明している ケースの合計	72	-	-	10	-	61	
30分以内	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
～1時間以内	25 100.0	- -	- -	6 24.0	- -	19 76.0	- -
～1時間30分以内	17 100.0	- -	- -	2 11.8	- -	15 88.2	- -
～2時間以内	7 100.0	- -	- -	- -	- -	7 100.0	- -
～2時間30分以内	4 100.0	- -	- -	1 25.0	- -	3 75.0	- -
～3時間以内	2 100.0	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -
～4時間以内	7 100.0	- -	- -	1 14.3	1 14.3	5 71.4	- -
～7時間以内	4 100.0	- -	- -	- -	- -	4 100.0	- -
～10時間以内	2 100.0	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -
～15時間以内	3 100.0	- -	- -	- -	- -	3 100.0	- -
15時間を超える	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -

くも膜下出血の脳外科手術は、30分を超え1時間以内では60.0%（6件）、1時間を超え1時間30分以内では33.3%（1件）、1時間30分を超え2時間以内では50.0%（1件）、2時間を超え2時間30分以内では100%（1件）、4時間を超えるケースでも治療実績があった。

脳外科手術については、病着までの時間に関わらず実施されていた。

治療内容－発症から病着までの時間別

くも膜下出血

（上段：件数 下段：％）

	合計	① t-PA治療	② 脳血管内治療	③ 脳外科手術	②③脳血管内治療＋ 脳外科手術	①②③の治療については 治療実績なし
総数	38 100.0	- -	3 7.9	19 50.0	1 2.6	15 39.5
※発症時間が判明している ケースの合計	28	-	2	16	1	8
30分以内	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
～1時間以内	10 100.0	- -	1 10.0	6 60.0	- -	3 30.0
～1時間30分以内	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3
～2時間以内	2 100.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
～2時間30分以内	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -
～3時間以内	- -	- -	- -	- -	- -	- -
～4時間以内	4 100.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	2 50.0
～7時間以内	2 100.0	- -	- -	2 100.0	- -	- -
～10時間以内	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -
～15時間以内	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -
15時間を超える	3 100.0	- -	- -	2 66.7	- -	1 33.3

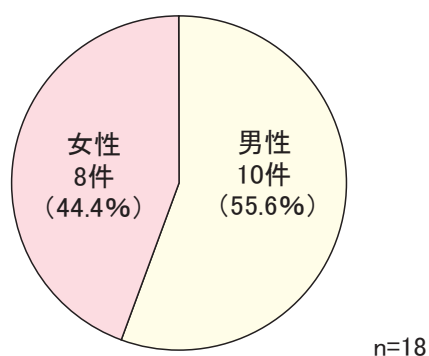
(2) 脳梗塞のt-PA治療

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断されたケースは413件であり、うち脳梗塞は258件であった。258件のうちt-PA治療実績は18件であり、その実施率は7.0%であった。

18件のケースをみると、男女比は男性10件(55.6%)、女性8件(44.4%)であった。

年代別にみると、50歳未満では9例中3例に実施しており、実施率は33.3%であるが、50歳以上では249例中15例に実施しており、実施率は6.0%となっている。

脳梗塞のt-PA治療実績－性別

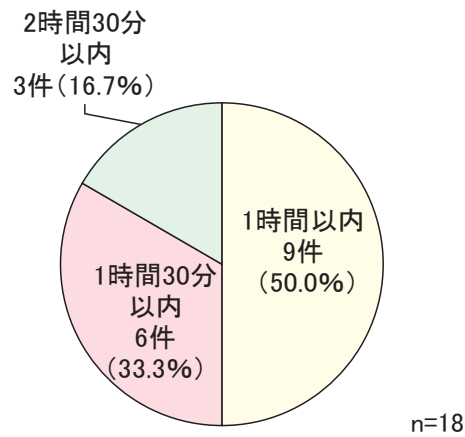


脳梗塞のt-PA治療実績－年代

脳梗塞患者			t-PA治療実績		脳梗塞患者 に対する t-PA実施 割合(%)
年代	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	
～20未満	-	-	-	-	-
20～25歳未満	-	-	-	-	-
25～30歳未満	2	0.8	2	11.1	100.0
30～35歳未満	-	-	-	-	-
35～40歳未満	2	0.8	-	-	-
40～45歳未満	3	1.2	1	5.6	33.3
45～50歳未満	2	0.8	-	-	-
50～55歳未満	14	5.4	1	5.6	7.1
55～60歳未満	9	3.5	-	-	-
60～65歳未満	19	7.4	1	5.6	5.3
65～70歳未満	37	14.3	3	16.7	8.1
70～75歳未満	32	12.4	-	-	-
75～80歳未満	37	14.3	1	5.6	2.7
80～85歳未満	34	13.2	3	16.7	8.8
85～90歳未満	35	13.6	5	27.8	14.3
90歳以上	32	12.4	1	5.6	3.1
合計	258	100.0	18	100.0	7.0

t-PA治療実績を発症から病着までの時間でみると、1時間以内が9件、1時間を超え1時間30分以内が6件、1時間30分を超え2時間以内が0件、2時間を超え2時間30分以内が3件、2時間30分を超え3時間以内が0件となっており、t-PA治療実績のケースは、すべて発症から病着まで2時間30分以内に実施されていた。

脳梗塞のt-PA治療実績－発症～病着までの時間

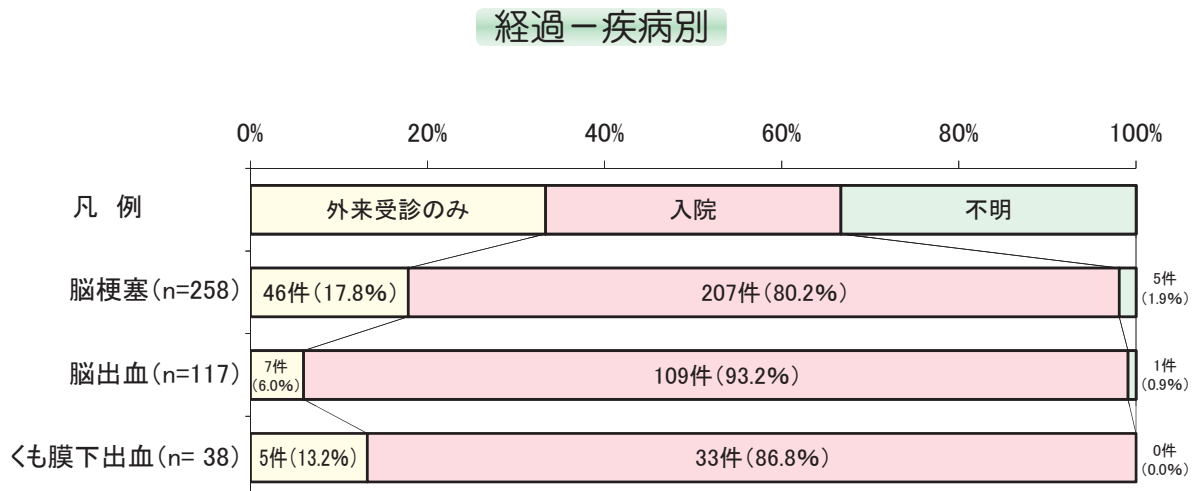
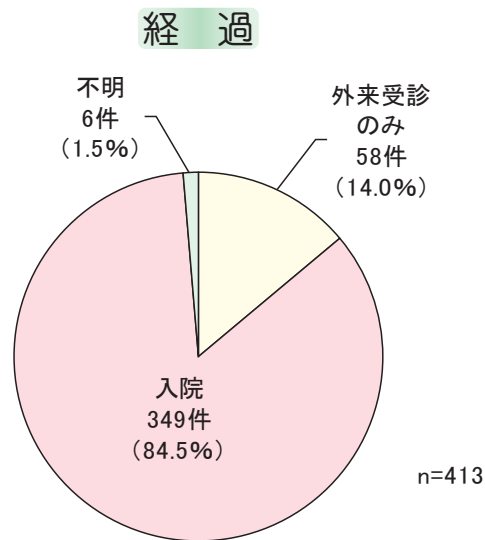


2 経過

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断されたケース 413 件についての救急搬送後の状況をみると、入院に至ったケースが 349 件（84.5%）、外来受診のみ（転送及び死亡を含む）が 58 件（14.0%）であった。

疾病別でみると、脳梗塞では外来受診のみのケースは 46 件（17.8%）、入院したケースは 207 件（80.2%）、脳出血では外来受診のみのケースは 7 件（6.0%）、入院したケースは 109 件（93.2%）、くも膜下出血では外来受診のみのケースは 5 件（13.2%）、入院したケースは 33 件（86.8%）となっている。

外来受診のみのケースの割合は脳梗塞が最も高くなっている。



医療機関による確定診断で、脳卒中と診断されたケース 413 件について、救急搬送後の状況を発症時間帯別でみると、入院したケースはすべての時間帯でみられた。

外来受診のみのケースも、日中にやや多く見られるものの、ほぼすべての時間帯でみられた。

経過－発症時間帯別

(上段：件数 下段：%)

	合計	外来受診のみ	入院	不明
総数	413 100.0	58 14.0	349 84.5	6 1.5
0時台	4 100.0	1 25.0	3 75.0	- -
1時台	5 100.0	- -	5 100.0	- -
2時台	2 100.0	- -	2 100.0	- -
3時台	8 100.0	2 25.0	6 75.0	- -
4時台	2 100.0	- -	2 100.0	- -
5時台	5 100.0	- -	5 100.0	- -
6時台	14 100.0	4 28.6	10 71.4	- -
7時台	11 100.0	- -	11 100.0	- -
8時台	18 100.0	3 16.7	15 83.3	- -
9時台	19 100.0	3 15.8	16 84.2	- -
10時台	17 100.0	5 29.4	12 70.6	- -
11時台	14 100.0	2 14.3	12 85.7	- -
12時台	22 100.0	7 31.8	15 68.2	- -
13時台	10 100.0	- -	10 100.0	- -
14時台	13 100.0	3 23.1	10 76.9	- -
15時台	14 100.0	1 7.1	13 92.9	- -
16時台	13 100.0	1 7.7	12 92.3	- -
17時台	12 100.0	1 8.3	10 83.3	1 8.3
18時台	9 100.0	- -	9 100.0	- -
19時台	20 100.0	- -	20 100.0	- -
20時台	14 100.0	2 14.3	12 85.7	- -
21時台	7 100.0	1 14.3	6 85.7	- -
22時台	9 100.0	3 33.3	6 66.7	- -
23時台	8 100.0	1 12.5	7 87.5	- -

3 転帰

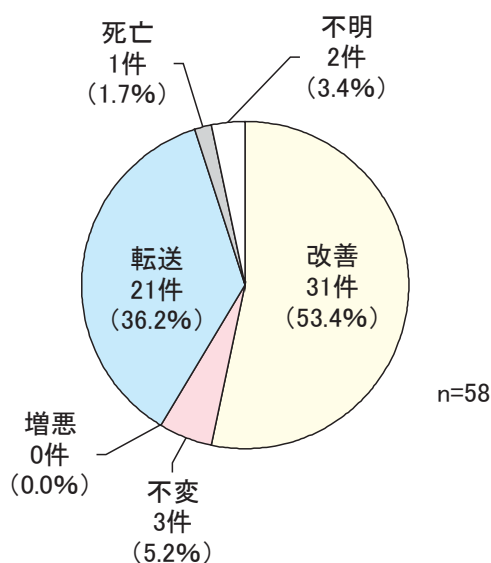
(1) 外来受診のみの患者の転帰

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断されたケース 413 件のうち、救急搬送後、外来受診のみのケース 58 件の外来受診時における状況は「改善」が 31 件 (53.4%) で最も割合が高く、次いで「転送」21 件 (36.2%)、「不変」3 件 (5.2%)、「死亡」1 件 (1.7%) であった。

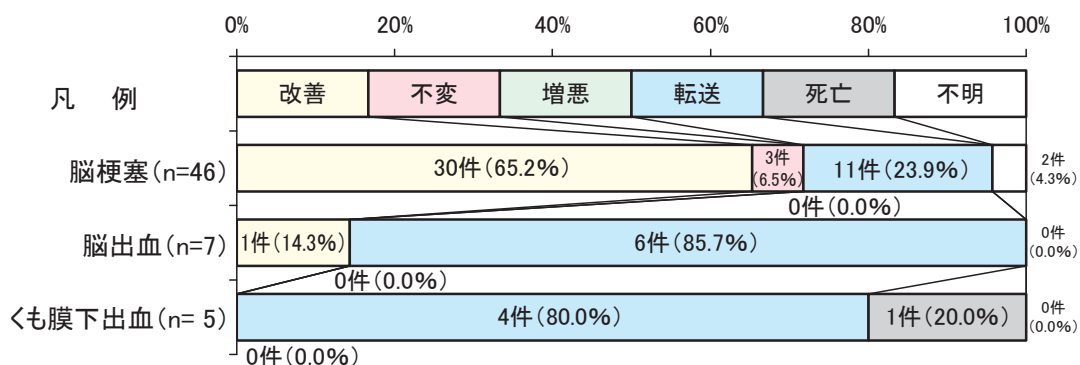
58 件を疾病別で見ると、脳梗塞 46 件、脳出血 7 件、くも膜下出血 5 件であった。脳梗塞では「改善」30 件 (65.2%) が最も高くなっているが、脳出血、くも膜下出血では「転送」が最も高く、それぞれ 6 件 (85.7%)、4 件 (80.0%) となっている。

また、転送の主な理由は、「その他の専門的治療が必要」6 件 (28.6%)、「脳外科手術が必要」4 件 (19.5%) であった。

外来受診のみの患者の転帰



外来受診のみの患者の転帰 - 疾病別

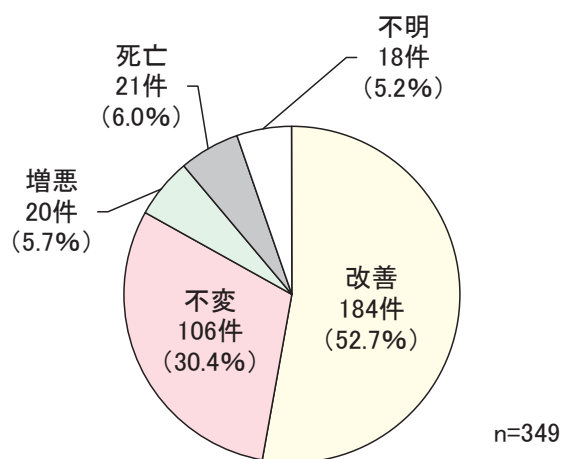


(2) 入院に至った患者の転帰

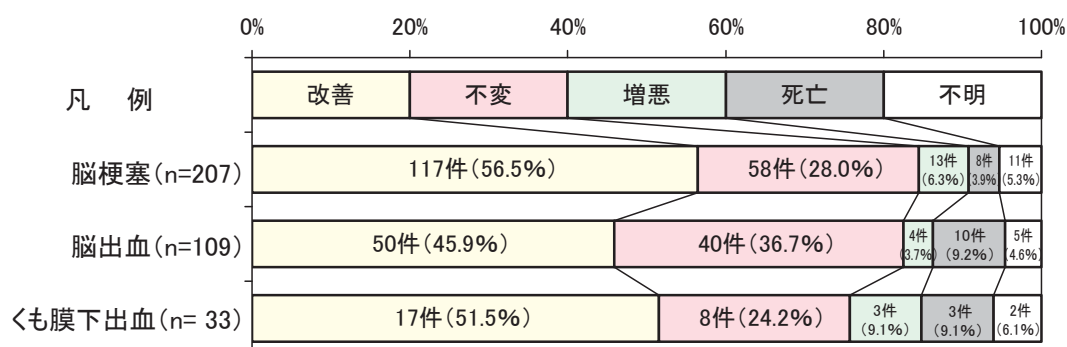
医療機関による確定診断で、脳卒中と診断されたケース 413 件のうち、救急搬送後、入院に至ったケース 349 件の入院一週間後の転帰は「改善」が 184 件（52.7%）で最も高く、次いで「不変」106 件（30.4%）、「死亡」21 件（6.0%）、「増悪」20 件（5.7%）であった。

349 件を疾病別でみると、脳梗塞 207 件、脳出血 109 件、くも膜下出血 33 件であった。いずれも「改善」の割合が最も高く、脳梗塞では 117 件（56.5%）、脳出血では 50 件（45.9%）、くも膜下出血では 17 件（51.5%）となっている。

入院に至った患者の転帰



入院に至った患者の転帰－疾病別



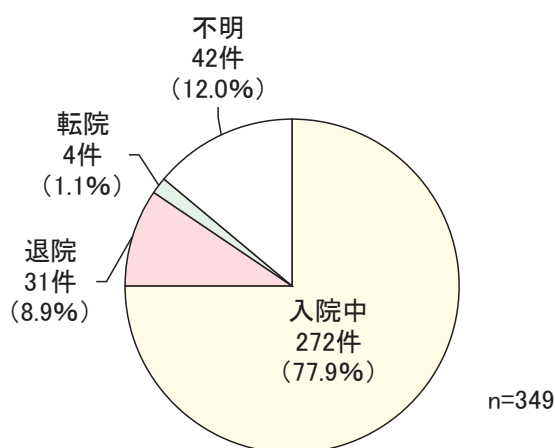
(3) 入院患者の一週間後の状況

医療機関による確定診断で、脳卒中と診断されたケース 413 件のうち、救急搬送後、入院に至ったケース 349 件の一週間後の状況は、「入院中」が 272 件 (77.9%)、「退院」31 件 (8.9%)、「転院」4 件 (1.1%) であった。

疾病別で見ると、いずれも「入院中」の割合が最も高く、脳梗塞では 157 件 (75.8%)、脳出血では 90 件 (82.6%)、くも膜下出血では 25 件 (75.8%) となっている。「退院」は脳梗塞で 28 件 (13.5%)、脳出血で 3 件 (2.8%) みられた。

また、転院の理由は、「その他の専門的治療が必要」などであった。

入院患者の一週間後の状況



入院患者の一週間後の状況－疾病別

